

「家畜に優しい」牧場初認証

中札内の法人 道内外6カ所に

アニマルウェルフェア畜産協会の
認証を受けた食品につける専用の
ロゴマーク



協会は動物行動学の専門
家や生産者らが昨年5月に
設立。酪農や畜産の大規模
化が進む中、生産効率の追
求だけではなく、AW重視
の飼育を認証制度を通じて
広げ、家畜の病気を減らす

商品に専用マーク 消費者にアピール

一般社団法人アニマルウェルフェア畜産協会（十勝管内中札内村）は21日、同協会が新設した牛や豚などをストレスの少ない快適な環境で育てるアニマルウェルフェア（家畜福祉、AW）の認証制度に、乳牛を飼う道内と岩手県の計6牧場が初めて合格したと明らかにした。牧場側は牛乳や乳製品に専用のマークをつけて販売し、他製品との差別化を狙う。

などして食の安全性を高め
ることを目指す。

昨年7月、「皮膚病を発生している牛がいない」「牛舎内に80センチ以上の断続的な騒音がない」「従事者1人あたり搾乳牛飼養頭数が30頭以下」など、乳牛を飼う牧場の基準を策定。昨年から担当者、申請があった牧場を審査し、動物、施設、管理の3分野で各項目の8割以上を達成していることを確認した。

認証を受けた牧場「クリーマリー農夢」（旭川市）は搾乳牛6頭で放牧に取り組み、牛乳やヨーグルトなどを販売している。同牧場の佐竹秀樹代表は「消費者がAWを重視した製品を選べるのが重要。AWへの

理解が広がってほしい」と期待する。

同協会は12月8日午後3時から、認証牧場のお披露目をTKPガーデンシティ札幌駅前（札幌市中央区北2西2）で開く。農場の代表者の発表や、認証食品の試食も行われる。参加費3千円で、25日まで申し込みが必要。問い合わせは事務局の滝川康治さん ☎090・9085・9078へ。

クリーマリー農夢以外に認証を取得した牧場は次の通り。

▽長坂牧場（釧路管内標茶町）▽千葉牧場（釧路管内鶴居村）▽坂根牧場（十勝管内大樹町）▽湖水地方牧場（十勝管内幕別町）▽なかほら牧場（岩手県岩手町）